

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会
平成 28 年度 第 4 回プロジェクト委員会
議事録

日 時 : 平成 28 年 10 月 14 日 (金) 午前 7 時 00 分 ~ 8 時 00 分
場 所 : 福岡サンパレス 4F 第 5 会議室
(第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会会場)

出席者 : 山下 敏彦 (担当理事)、川上 守 (委員長)、海渡 貴司、西田 康太郎、波呂 浩孝、宮腰 尚久、山田 宏、井上 玄 (委員)、新谷 歩 (アドバイザー)、以上 9 名
欠席者 : 今釜 史郎、松山 幸弘、村上 英樹、山崎 正志 (委員)、田口 敏彦 (アドバイザー)、持田 讓治 (アドバイザー) 以上 6 名

報告事項

- 海渡委員より プロジェクト「慢性腰痛症に対する薬物療法の臨床経済研究」の進捗状況について説明があった。資料郵送状況は登録期から第 3 期までが 94.3%、登録期から第 6 期までが 74.3%。
- 新たな統計解析アドバイザーとして大阪大学医学部附属病院・臨床統計疫学寄附講座教授の新谷 歩先生が紹介された。

議題

1. 上記プロジェクト研究の問題点と方向性

-症例集積について

症例収集およびデータ入力情報の御報告。全症例の入力を 11 月末までに終了し、その後、新谷アドバイザーの講座で解析を行う。

-研究資金について

阪大委任経理からの拠出金 : 260,000 円の JSSR よりの支払い承認
研究協力費 : 約 240 万円の支払いについても各基幹病院の手続きに従い支払いを行うことが承認された。間接経費は前回同様支払い総額から差し引いていただく。

統計解析費　：新谷アドバイザーの講座での解析に専門的手法を用いて
いただく予定でありその業務に対し学会より 100 万円を目処に支払いする
ことを理事会に諮っていただくこととなった。

-解析について

新谷アドバイザーより、全体の解析および欠損値の補填、ドロップア
ウト症例の取り扱いなどについて説明があった。

バイアスの排除のため登録期データがある全症例のデータ入力を推奨さ
れた。経時データの入力・解析・データ補填方法などを具体例を用いて
説明いただいた。

-発表について

来年度の JSSR で、本委員会より松山委員、海渡委員、新谷アドバイ
ーの 3 名にご登壇頂くことが承認された(シンポジウムを予定)。座長を
波呂委員・持田アドバイザーがご担当される。

-論文投稿について

ターゲットジャーナルなど、今後新谷アドバイザーと海渡委員で相談
して頂く。

2. 新規プロジェクト研究に関して

田口理事長から頸椎疾患に関するプロジェクト研究の依頼があったため
研究テーマに関してメールで募集することになった。

3. 次回開催日時 2017 年 1 月 19 日 13:00 ~ 神戸ポートピアホテルで予定

以上

文責：井上 玄